

給食の全関係者の感謝・感謝です。

校長 H30/1/24

給食週間は次の歴史から 1 月下旬に誕生。
頭の片隅において味わってみませんか？

1 給食のはじまりは「ララ物資」だった。

<http://www.hide-fujino.com/blog/2014/08/14/23544> から

だいたい 65 歳以上の方であれば、幼い頃に『脱脂粉乳（スキムミルク）』を給食で飲んだ、という記憶があると思います。「あれはマズかったんだよ」というお話を聞かせてもらったことがあります。戦後の子どもたちの栄養状態を改善する為に、『学校給食』がスタートしました。『学校給食』を始めることができたのは、脱脂粉乳や大量の小麦粉など『ララ物資』の存在のおかげだったのです。この莫大な支援物資のおかげで、初めて給食をスタートすることが可能になったのです。



昭和 20 年代の給食の様子

2 戦後アメリカの善意の支援だと言われた「ララ物資」の多くは、実は日本からの移民が送っていた。



この『ララ物資』は「善意のアメリカ人からの寄附による支援物資だ」と記憶している方々が大半ではないでしょうか。でも、実際は『ララ物資』の一部は、海外に移民していた日本人とその子孫である日系人から送られていました。終戦直後のニューヨークからその動きが始まり、ラテンアメリカ各国の日本人・日系人の間で活動が広がっていきました。『敵性国民』として強制収容されていた日本人・日系人たちが、祖国への支援物資を送る為に奔走して『ララ物資』は実現したのです。

しかし、当時の GHQ は、この事実を日本人には隠していたのです。祖国を離れて移民として暮らす日本人、そして日系人の多くの方々が、母国の為に尽力して下さったことを知り、ありがたく感じました。ララ物資は横浜港に届き、1月下旬から本格的な給食が始まったのです。

歴史を学ばねば良い未来を作れない。